

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
家庭 Home Economics		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	三時 貴久子	
概要				
<p>小学校学習指導要領の「家庭」の目標および内容を理解する。教育実践に必要な知識と技術を習得する。全領域の教材を扱い、指導案の作成を練習し、模擬授業を体験する。模擬授業への検討・反省を通して教育実践への力を培いたい。</p>				
到達目標				
<p>(1) 小学校家庭科の内容・指導上の留意点を分かりやすく説明できる。  (2) 実技指導に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。  (3) 模擬授業を行い、改善点を協議することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<b>【前期】</b> 1 「家庭」の目標 2 学習指導要領（目標・内容） 3 指導計画の作成・内容の取扱い 4 「家庭」の特性と配慮事項 5 「家族・家庭生活」の展開 6 食事の役割と調理の基礎 7 「食領域」の教材を使った調理実習① ゆでる（卵・青菜） 8 「食領域」の教材を使った実践研究 栄養を考えた食事・1食分の献立 9 「食領域」の教材を使った調理実習② ご飯とみそ汁 10 「消費生活と環境」の展開 11 「消費生活」の基礎 売買契約 12 「物や金銭の使い方と買い物」の指導 13 「環境に配慮した生活」の指導 14 家族・家庭生活についての課題の設定 15 「家庭」と他教科との関連		<b>【後期】</b> 1 「衣料域」の展開 2 「衣料域」の実技演習① 道具の名称と使用上の注意 3 「衣領域」の実技演習② 手縫いの基礎 4 「布を用いた製作」材料と手順 5 「布を用いた製作」ミシンの基礎 6 「布を用いた製作」袋の製作① 7 「布を用いた製作」袋の製作② 8 「住領域」の教材を使った実践研究 9 「衣服の着用と手入れ」の指導 ボタン付けと洗濯 10 「食領域」の教材を使った調理実習③ いためる 11 「食領域」の教材を使った調理実習④ じゃがいも料理 12 指導案の作成の手順と演習 13 模擬授業の実践と改善点の討議 14 模擬授業の実践と改善点の討議 15 「食領域」と家族のだんらん		
テキストおよび 参考文献	「家庭」山口短期大学 「小学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省			
メッセージ など	小学校家庭科は、誰の実生活にも役立つ基本を学びます。 小学校教諭二種免許：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 小学校家庭科の内容・指導上の留意点を分かりやすく説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	不足している部分はあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験	30%
(2) 実技指導に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。	実習に積極的に参加し、基礎的な知識・技能を十分に身に付けている。	実習に参加し、基礎的な知識・技能を身に付けている。	基礎的な知識・技能は身に付けているが、作品制作には個別指導が必要である。	基礎的な知識・技能を十分身に付けていない。	定期試験	20%
					実習態度・作品の完成度	30%
(3) 模擬授業を行い、改善点を協議することができる。	模擬授業の指導案を書くことができ、授業後の協議で改善点を提案できる。	模擬授業の指導案を書くことができ、授業後の協議に参加できる。	模擬授業の指導案を書くことはできるが、改善点への意欲が不足している。	模擬授業の指導案を書くことができない。	模擬授業への取り組み・協議への参加（関心・意欲・態度）	20%